

平成27年度第2四半期決算経営協議会開催

決算は過去最高！ 通期では予想を上方修正！

本部は10月30日、平成27年度第2四半期決算の経営協議会を開催しました。会社は第2四半期決算について「連結損益は営業収益8,602億円、営業利益3,240億円、経常利益2,929億円、純利益1,957億円で過去最高となった。平成27年度通期予想は営業収益を1兆7,150億円、営業利益5,450億円、経常利益4,750億円、純利益3,210億円で上方修正する」などと明らかにしました。

小林委員長は決算内容を踏まえ、会社に対し以下の項目について見解を求めました。

①好調な業績は全ての社員の日々の努力によるものである。その努力に報いるため年末手当は要求通り3.5ヶ月分支給すること。ベアも基本給に一律配分すること。②利益は労働条件改善、職場環境改善のための設備投資にも振り向けること③慢性的な要員不足の解消に向けた具体的取り組みを行うこと④専任社員の道を選ばないケースが多く発生している。高齢者の働き方を抜本的に見直す必要がある。⑤リニア中央新幹線の進捗状況、リニア中央新幹線沿線住民が国交省の建設認可取消を求める訴訟を起こすという情報について見解を明らかにすること。⑥海外における高速鉄道、超電導リニアプロジェクトの進捗状況について明らかにすること⑦好業績を踏まえ、更なる安全確保のためハード面における設備投資を推し進めること⑧海外からの旅行者の受け入れ体制は不十分である。特に異常時の情報提供や誘導體制について対策を立てること。⑨子会社の日本車輛（株）の連続赤字の原因と支援策を明らかにすること。⑩安保法成立について、極めて公共性の強いJR東海の葛西名誉会長がコメントするのはふさわしくない。

詳細は業務速報No.965号を参照して下さい。

好業績を踏まえ、年末手当は3.5ヶ月分満額支給すること！